

環境調査結果のお知らせ

令和5年3月24日9時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

水温は17.3~17.7℃で、前回調査時(R5.2.21)と比較して全層で3.2~4.1℃上昇しました。  
 塩分は11.4~30.8で、前回調査時と比較して全層で0.7~19.1低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は8.3~10.4 mg/Lで、前回調査時と比較して表層から2m層で0.2~1.4 mg/L増加し、底層で0.4 mg/L減少しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は0.8 mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で15,900 cells/mL確認され、漁業被害が想定される細胞密度に達しました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R5.2.21)	
			差(今回-前回)
0m	17.4	13.3	4.1
1m	17.7	13.8	3.9
2m	17.3	14.0	3.3
B-1	17.3	14.1	3.2

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R5.2.21)	
			差(今回-前回)
0m	11.4	30.5	▲ 19.1
1m	20.1	31.0	▲ 10.9
2m	30.0	31.3	▲ 1.3
B-1	30.8	31.5	▲ 0.7

表3 溶存酸素量(mg/L)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R5.2.21)	
			差(今回-前回)
0m	10.4	9.1	1.3
1m	10.2	8.8	1.4
2m	8.9	8.7	0.2
B-1	8.3	8.7	▲ 0.4

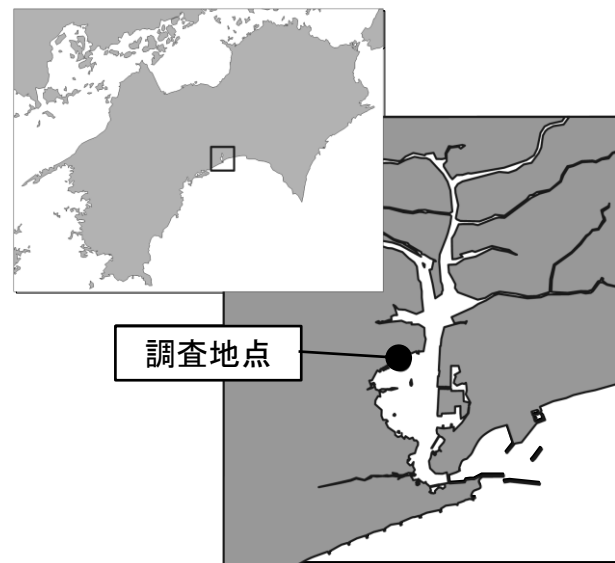


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.6	3.5
透明度	0.8	2.8

表5 プランクトン(cells/mL)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	珪藻類
0	12,800	0
1	15,900	0
2	4,200	0

漁業被害が想定される細胞密度  
 ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>